

都市再生整備計画(第2回変更)

さのえきしゅうへんちく　だいにき
佐野駅周辺地区(第二期)

栃木県 佐野市

平成25年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	さのし 佐野市	地区名	さのえきゅうへんちく 佐野駅周辺地区(第二期)	面積	146 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標

目標1 佐野市の顔として誇れるシンボル軸の形成

目標2 「居住・生活空間」と「創造・感動空間」の形成による魅力あるまちなかの再生

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・佐野市は、平成17年2月28日に旧佐野市、田沼町、葛生町が合併し、人口12万7千人(H18.4.1)の新「佐野市」となった。
- ・地区内には、市役所やJR佐野駅・東武佐野線佐野駅や商店街、市民のシンボルである城山公園などがあり、古くから地域の行政、文化、経済の中心であり、新「佐野市」の顔となるべき地区である。
- ・昭和56年度から平成12年度にかけて、佐野駅南土地区画整理事業が施行され、中心市街地の核となる区域の基盤整備が行われた。
- ・平成15年4月には、駅の南北を結ぶ自由通路が供用開始され、駅の景観が一新されるとともに、駅北口に隣接する城山公園へのアクセスが向上した。
- ・平成20年10月から市営バス「さーのって号」の実験運行が開始となり(平成23年4月から本格運行)、佐野駅と市内を結ぶ公共交通の利便性が高まった。
- ・平成21年3月に「佐野商工会議所 まちなかサロン」、平成22年7月に「佐野駅前交流プラザ ぱるぽーと」、同年11月に「まちなか活性化ビル 佐野未来館」がオープンし、まちなか活性化の核となる拠点施設が整備された。
- ・ぱるぽーと合わせて整備した佐野駅前交流広場を中心に、各拠点施設において市民主体のイベント等が定期的に開催され、まちなかにぎわいを取り戻そうとする動きが目立つようになってきた。

課題

- ・「佐野駅前交流プラザ ぱるぽーと」「まちなか活性化ビル 佐野未来館」のオープンにより拠点としてのシンボルは整備されたが、まちなかへのアクセス性やまちなかの回遊性を高める軸としてのシンボルについては未だ整備されておらず、佐野市の顔として未成熟な状態という印象を与えている。また、地域住民を対象に平成21年3月に行なった県道桐生岩舟線・市道1級1号線の拡幅整備に関するアンケートにおいて約80%の人が「整備は必要と考える」と回答し、住民の意向としても東西南北のシンボル軸整備の必要性は高まっており、具体的な整備計画の策定が求められている。
- ・第一期計画において実施してきた市道の舗装改修等により、路地裏的な路線の歩行環境についてはほぼ改善されたが、「まちなか活性化ビル 佐野未来館」、「佐野商工会議所 まちなかサロン」、「佐野市観光物産会館・佐野厄除け大師」の各拠点間を結ぶ歩行者空間の形成が未整備の課題として残っている。
- ・平成19年度から開始した空き店舗活用にぎわい支援事業により、新しい商業者の出店数が伸びる傾向にあったが、平成23年3月の東日本大震災の影響等により既存の商業者の閉店が見られ、ここ数ヶ月間でまた空き店舗が目立つようになってきている。
- ・東日本大震災により被災した市役所本庁舎の解体と新庁舎の建設を進めており、新庁舎を核とした中心市街地のまちづくりについて検討が必要である。
- ・人口減少、少子高齢化の波に伴い、まちなかにおける居住人口や子供の数が減少し高齢化率が高くなってきており、将来的なコミュニティの維持が懸念される状況にある。

将来ビジョン(中長期)

(佐野市総合計画中期基本計画)

- ・平成22年3月に策定した佐野市総合計画中期基本計画(計画期間:H22~25年度)において、「観光立市の推進」をリーディングプロジェクトに位置づけている。また、基本計画に定める36施策のうち、「道路・公共交通網の整備とまちなかの活性化」を施策の一つとして、推進を図ることとしている。

(佐野市都市計画マスタープラン)

- ・平成21年3月に策定した佐野市都市計画マスタープランでは、佐野駅周辺を新「佐野市」の中心市街地に位置づけ、都市機能の集積を図るエリアとしている。また、公共交通の利便性の向上、公共公益施設や都市基盤施設の再整備、まちなか居住の促進により、「まちなか居住・交流拠点」として活性化を図ることとしている。

(佐野市中心市街地活性化基本計画)

- ・平成22年3月に策定した佐野市中心市街地活性化基本計画では、「佐野しさを誇れる小洒落たまち」をまちなか活性化の基本コンセプトとして、「住む」「観る」「創る」をテーマにまちなか元気アップ日本一を目指すこととしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
佐野駅周辺地区の生活環境の満足度	%	「市政に関するアンケート」において「佐野駅周辺地区が以前より便利になったか」との設問に、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合の合計	居住・生活環境の整備・改善を図り、まちなかが魅力ある空間になつたと感じる人の割合を増加させる。	53.5	平成22年度	58.0	平成28年度
佐野駅周辺地区人口の減少率(前年比)	%	佐野駅周辺地区17町の4月1日現在における住民基本台帳人口について、前年と当年を比較しその減少率を算出したもの	まちなかの魅力アップにより居住者の郊外流出を抑え、佐野駅周辺地区の人口減少率の低下を図る。	△1.5	平成23年度	△1.3	平成28年度
佐野駅周辺地区の空き店舗率	%	佐野駅周辺地区内の主要9路線沿いに位置する総店舗数に対する空き店舗数の割合	まちなかの再生に向けた環境整備を行うことにより、空き店舗率を低減させる。	15.0	平成22年度	13.0	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針－1（佐野市の顔として誇れるシンボル軸の形成） 南北シンボル軸（市道1級1号線）の整備を推進し、佐野市の顔としての成熟を図る。 ・市道1級1号線については、佐野駅へのメインアクセス道路としての機能と快適な歩行空間を兼ね備えた整備を行う。また、残地を活用した沿道づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・道路（市道1級1号線歩道整備・道路拡幅）[基幹事業]・地域生活基盤施設（（仮称）S-Platz広場）[基幹事業]・地域生活基盤施設（駐車場）[基幹事業]
<p>整備方針－2（「居住・生活空間」と「創造・感動空間」の形成による魅力あるまちなかの再生） まちなかを居住・生活する場所、新たな魅力を創造し来街者に感動を与える場所として、環境整備を図り、「住んでよし、訪れてよし」の空間を形成する。 ・拠点施設を結ぶ歩行空間の改善 ・イベント等によるまちなかの魅力の発信 ・まちなか居住推進のための調査研究 ・市民が主体となりまちづくりを担う「まちづくり会社」の設立に向けた調査研究</p>	<ul style="list-style-type: none">・道路（市道1級1号線歩道整備・道路拡幅）[基幹事業]・道路（市道佐野53号線歩道改良・舗装改修）[基幹事業]・公園（（仮称）駅南公園）[基幹事業]・地域創造支援事業（空き店舗活用にぎわい支援事業）[提案事業]・地域創造支援事業（にぎわい創出活動支援事業）[提案事業]・地域創造支援事業（花のあるまちづくり事業）[提案事業]・新庁舎建設事業[関連事業]
その他	

交付対象事業等一覧表(変更後)

交付対象事業費	1,130.3	交付限度額	452.1	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち事業費	うち事業費			
道路	市道佐野53号線歩道改良・舗装改修	市	直	L=377.0m, W=11.0m	H24	H25	H24	H25	118.0	118.0	118.0	118.0	118.0	118.0	
道路	市道1級1号線歩道整備・道路拡幅	市	直	L=220.0m, W=18.0m	H23	H28	H24	H28	899.0	894.0	894.0	894.0	894.0	894.0	
公園	(仮称)駅南公園	市	直	A=1,500.0m ²	H24	H24	H24	H24	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	(仮称)S-Platz広場、駐車場	市	直	A=730.0m ²	H25	H28	H25	H28	48.3	48.3	48.3	48.3	48.3	48.3	
高質空間形成施設															
高次都市施設															
既存建物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
ハリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街のみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										1,090.3	1,075.3	1,075.3	1,075.3	1,075.3	1,075.3

8

口記
坦安事業

1

(参考) 開通事業

都市再生整備計画の区域

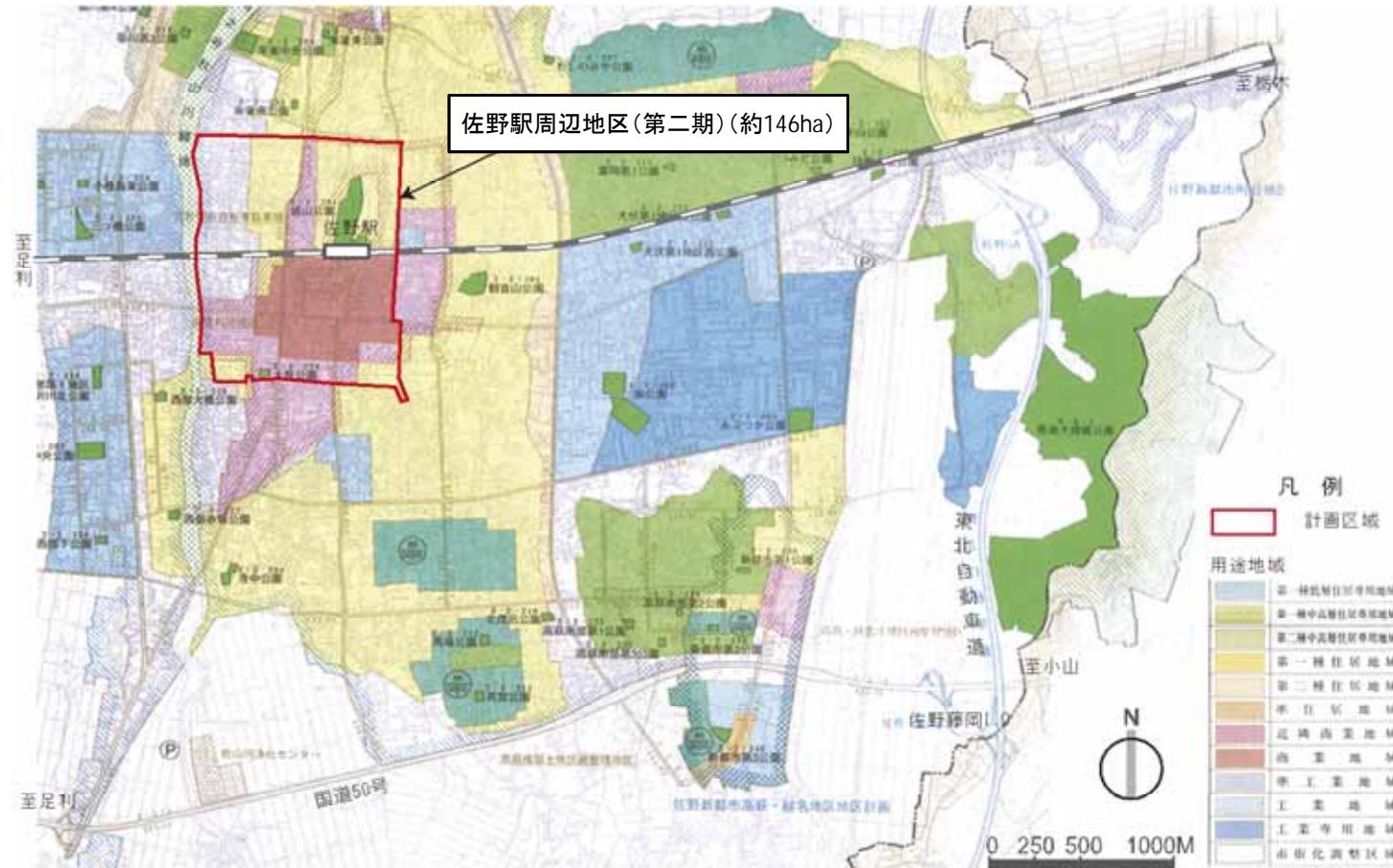
佐野駅周辺地区(第二期)(栃木県佐野市)

面積

146 ha

区域

若松町、天神町、朝日町、伊賀町、大蔵町、大町、本町、万町、高砂町、天明町、大和町、金井上町、金屋仲町及び亀井町、金屋下町、大祝町、金吹町の一部



佐野駅周辺地区(第二期)(栃木県佐野市) 整備方針概要図

目標	目標1 佐野市の顔として誇れるシンボル軸の形成	代表的な指標	佐野駅周辺地区の生活環境の満足度 (%)	53.5 (H22年度)	58.0 (H28年度)
	目標2 「居住・生活空間」と「創造・感動空間」の形成による魅力あるまちなかの再生		佐野駅周辺地区人口の減少率(前年比) (%)	1.5 (H23年度)	1.3 (H28年度)
			佐野駅周辺地区の空き店舗率 (%)	15.0 (H22年度)	13.0 (H28年度)

